幅45㎝用食器洗い乾燥機（家庭用）
ビルトインタイプ
取扱説明書 保証書付

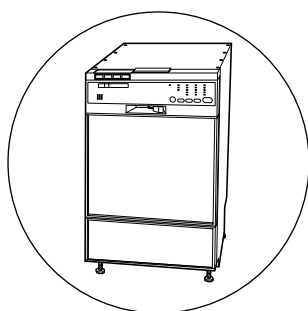
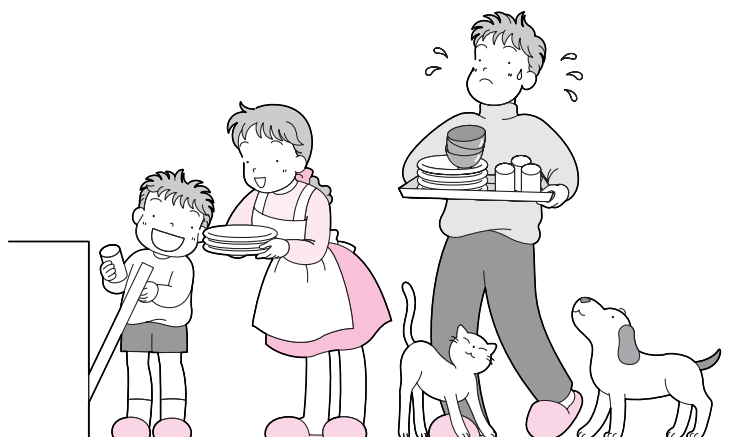
ごあいさつ

このたびは、ハーマンの食器洗い乾燥機をお買い上げいただきましてありがとうございます。
安全にご使用していただくために、機器を使用する前によく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。

○この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの弊社にお問い合わせください。

品名コード	
パネル材タイプ	FB4504PC・FB4504PF
ドア面材タイプ	FB4504WC・FB4504WF

使用前に

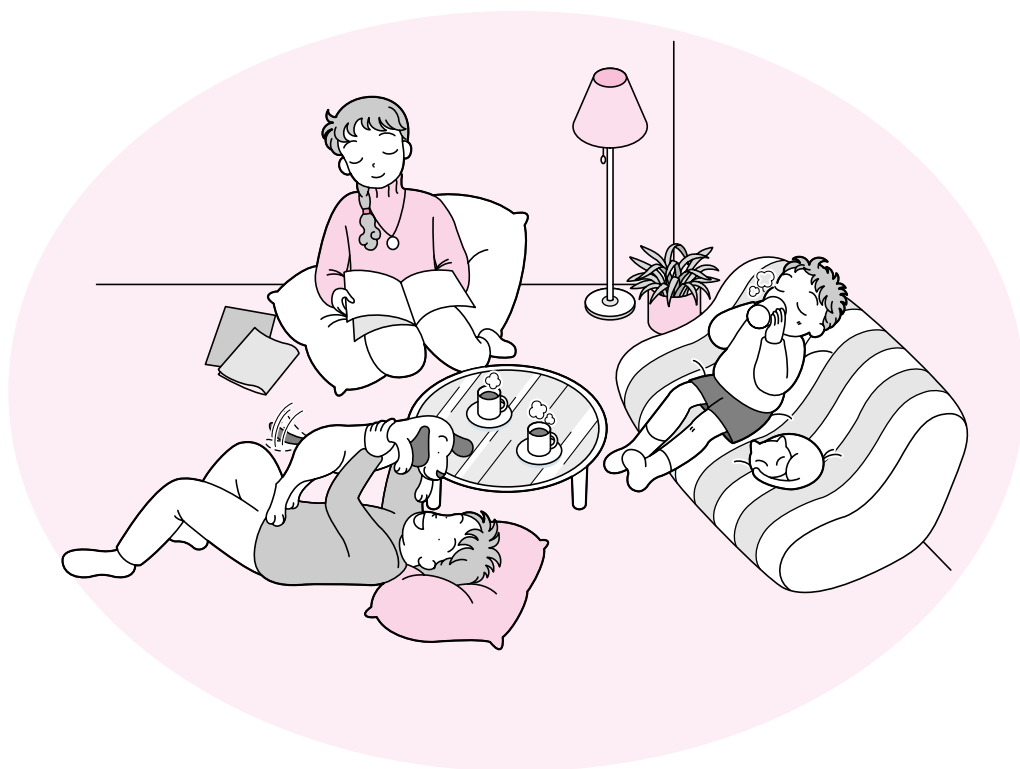
使いかた

点検・お手入れ、他

36264630

TJ46—03

油汚れもきれいに落ちて カラッと清潔乾燥

**食後の後かたづけはまかせて、
奥様もいっしょにおくつろぎください。**

多彩なコース

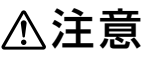
ライフスタイルに合わせて8つのコース運転が選べます。

たっぷり洗浄

8人分の食器（計58点）を一度に洗浄から乾燥までできます。
また、いろいろな形状の食器やまな板や、調理道具などが簡単にセットできます。

高温すすぎ

高温すすぎを選択すると約80℃のお湯ですすぎますので、雑菌のつきやすいまな板や包丁などを常に清潔に保ちます。

音声による報知機能

音声報知で操作手順や運転時間をお知らせします。
音声報知で運転中、運転終了後の操作による注意をお知らせします。

安全上のご注意　必ずお守りください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	警告・注意以外で特に守っていただきたい内容を示しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。
※警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を薄めの文字で表記しています。
（例：やけどのおそれがあります。）

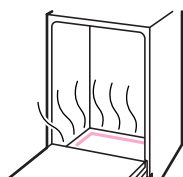
■注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです

 指に注意
 接触禁止
 火気禁止
 一般的な注意喚起
 水ぬれ禁止
 必ず行う
 一般的な禁止
 分解禁止

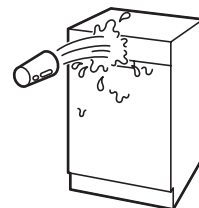
⚠警告

●運転中または、運転終了後30分間は絶対に庫内やヒーターにふれない。
※食器の取り出し、フィルターの掃除・お手入れも運転終了後30分以上経過してから行ってください。

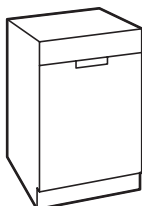
やけどのおそれがあります。

接触禁止

●水につけたり、水をかけたりしない。
※本体に水がかかるような水場に設置しないでください。

感電や故障の原因になります。

水ぬれ禁止

●絶対に分解したり修理・改造はしない。

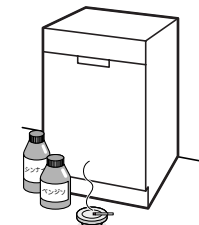
発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。

分解禁止

※修理はお買い求めの販売店に相談してください。

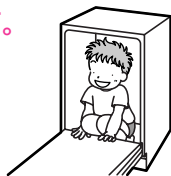
●火のついたローソク、蚊取り線香、煙草などの火気や、揮発性の引火物を近づけない。

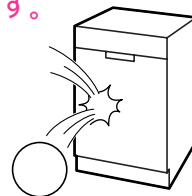
変形や火災のおそれがあります。

火気禁止

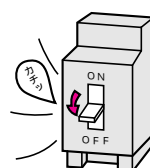
使用前に

⚠ 警告

● お子さまが中へ入らないように注意する。
※中からドアは開きませんので、閉じこめられてしまいます。使用後は必ずドアを閉めてください。

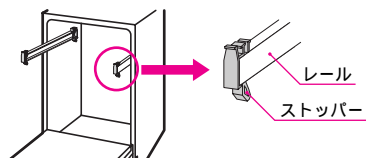
思わぬ事故の原因になります。

● 運転中は本体に衝撃を与えない。

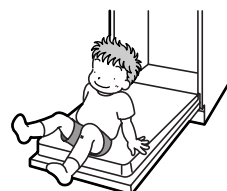
感電や漏電・ショートによる火災のおそれや機器損傷の原因になります。

● 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに専用回路のブレーカーを『切』にする。

感電や漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。

※お買い求めの販売店に、必ず点検・修理を依頼してください。

⚠ 注意

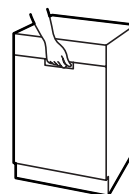
● 上かごをレールに挿入（セット）した後は、必ずストッパーをセットする。
※セットのしかたは5ページを参照してください。

セットを忘れると、上かごを引き出したときレールからかごがはずれ、食器の破損やけがの原因になります。

● 開いたドアに乗ったり、強い力をかけたりしない。

破損や、変形の原因になります。

● 排気口付近には近づかない。

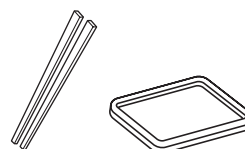
湯気・温風によりやけどのおそれがあります。

● 運転中は、ドアを開けない。

高温の洗浄水や湯気で、やけどのおそれがあります。

● 専用洗剤以外は絶対に使用しない。
※一般の台所用洗剤では、泡の異常発生で正しく作動しません。

故障の原因になります。

● 割りばしや、プラスチック容器のふたなど軽くて小さい食器を洗浄しない。

ヒーターの上に落ちた場合、発煙や故障の原因になります。

⚠ 注意

- ドアを閉めるとき指の挟み込みに注意する。

けがのおそれがあります。

指に注意

- 子供など取り扱いに不慣れな方には使わせない。

やけど・けがをするおそれがあります。

禁　止

- ドアとドア面材の間に指を入れない。（FB4504WC・FB4504WFのみ）

けがのおそれがあります。

指に注意

- 給湯器を高温に設定し、食器洗い乾燥機を使用される場合、他の水栓からも高温のお湯が出ることがあるので、注意する。

お願い

- 電源スイッチが『切』の状態で、コーススイッチを2秒以上押し続けながらスタートスイッチを押さないでください。

禁　止

（2秒以上）

＋

※施工者が運転確認するために行う『試運転チェック機能』になり、機器が運転状態に入ります。

万一、押してしまった場合は スイッチを押し、電源を『切』にしてください。

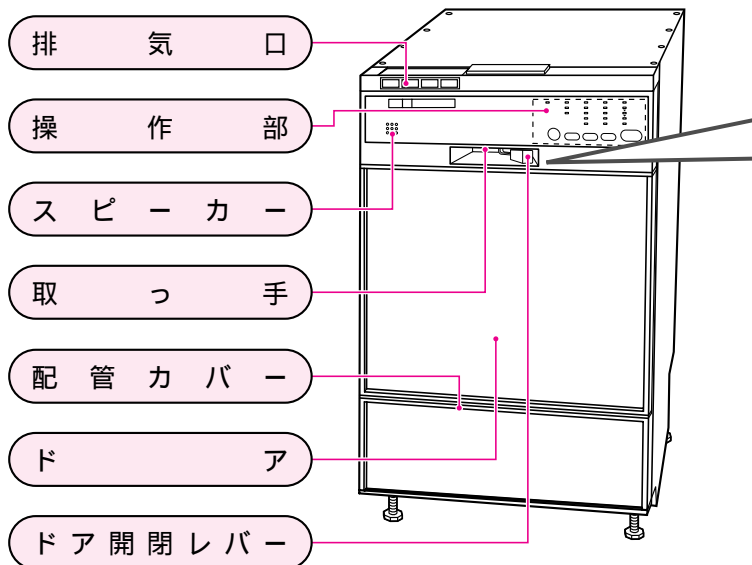
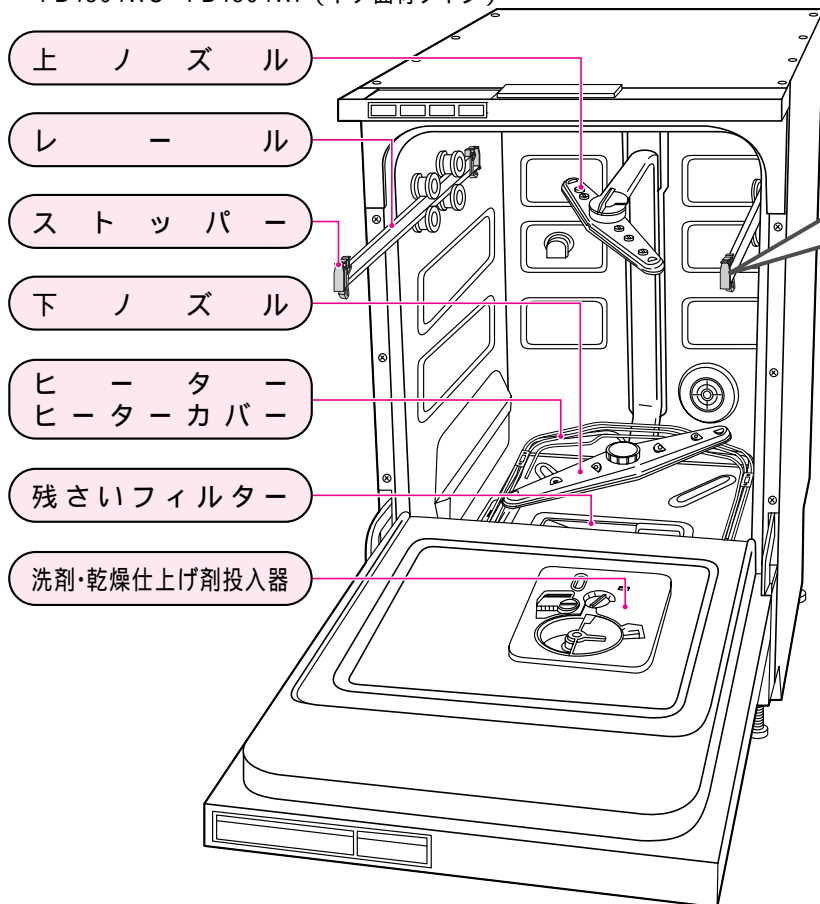
- 寒冷地の別荘などで、冬季に使用しないお客様へ

万一凍結してそのまま放置されると、給水弁や配管などの破損の原因になります。水抜き作業が必要なため、お買い求めの販売店または、もよりの水道施工業者に相談してください。
※凍結のおそれのある場所（室温0℃以下）へは設置しないでください。

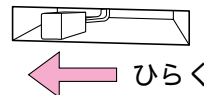
使用前に

各部のなまえ

■外観図

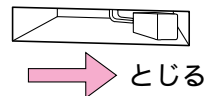
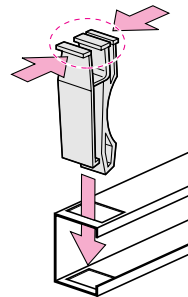
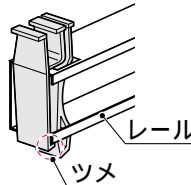
FB4504PC・FB4504PF（パネル材タイプ）
FB4504WC・FB4504WF（ドア面材タイプ）

※ドアはPC・PFタイプ・WC・WFタイプでデザインが異なります。

ドアの開閉のしかた

開けかた

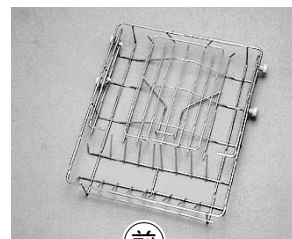
①ドア開閉レバーを『ひらく』の位置にする。
②取っ手を持ち、手前側に引く。

閉めかた

①ドアを閉める。
②ドア開閉レバーを『とじる』の位置にする。

■内観図

FB4504PC・FB4504PF（パネル材タイプ）
FB4504WC・FB4504WF（ドア面材タイプ）

ストッパーの取り付けかた

①つまむ　②はめる

● ストッパーはツメが確実にレールに入っていることを確認してください。

※取りはずしかたは逆の手順で行ってください。

上かご

下かご

■操作部

ロックランプ
ロックをしているときに点灯します。
（ロックについて：11ページ参照）

進行表示ランプ
運転中の状態をランプの点滅でお知らせします。終了した行程のランプは消灯し、現在運転中の行程ランプが点滅します。
（ドライ運転について：12ページ参照）

電源スイッチ
機器を運転させたいときに押します。
運転が終了すると自動的に電源を『切』にします。
（オートオフ機能）
※スタートせずに放置していると、約10分後に電源をオフします。

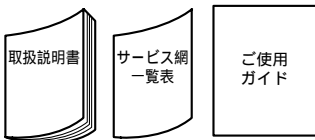
スタート／一時停止スイッチ
運転開始（スタート）させたいときおよび、機器を一時停止させたいときに押します。
※ 2秒以上連続して押すと、『ロック』となり全てのスイッチ操作が出来なくなります。

● 電源オフ状態でも常時水漏れを検知するために、約2Wの電力を消費しています。

予約スイッチとランプ
予約時間を設定したいときに押します。
（予約のしかた：14ページ参照）

コーススイッチとランプ
食器の汚れ具合などに応じて、コースの選定をかえたいときに押します。
（洗浄コースの選びかた：13ページ参照）

乾燥スイッチとランプ
乾燥方法や乾燥時間をかえたいときに押します。
（乾燥モードの選びかた：14ページ参照）
（乾燥方法（乾燥モード）について
知って得するメモ：13～14ページ参照）
（各コース別の所要時間のめやす：16ページ参照）

■付属品

● 取扱説明書 ● サービス網一覧表 ● ご使用ガイド	● 専用洗剤（粉末） ※計量スプーン付	● 乾燥仕上げ剤	● 据え付け工事に必要な付属品
取扱説明書 / サービス網一覧表 / ご使用ガイド	食器洗い乾燥機 専用粉末洗剤（試供品）	乾燥仕上げ剤（リンス）	別添の据付工事説明書をご覧ください。

2 使いかた
運転前に

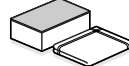
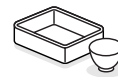
1 洗える食器かどうか確認する。

庫内に入れてはいけないもの

⚠注意

- 洗浄水の噴射で飛ばされやすい軽いものは入れない。
- 食器や調理器具以外のものは入れない。

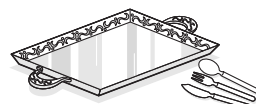
ヒーターカバーの上に落ちると、発火、発煙、焦げ、溶け、においの原因になります。

わりばし
ふきん、スポンジ

哺乳瓶の乳首
プラスチック容器

発泡スチロールの容器
プラスチックのスプーン、フォーク
耐熱90℃以下のプラスチックのもの（耐熱表示のないもの）

変形します。

カットガラス、クリスタルガラス、強化ガラス、傷ついたガラス食器

白く濁ったり割れたりします。

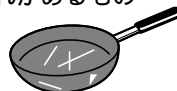
銀製・洋銀製食器など

金色に変わり、その後黒くなります。

アルミ製の鍋や銅製の食器

白くなりその後、灰色に変色します。

鉄製の包丁、フライパン

錆びることがあります。

フッ素樹脂加工を施したフライパンなどで、表面に傷やはがれがあるもの

コーティングがはがれることがあります。

びん、徳利などの食器

口の小さいものは中が洗えません。

ひびの入った食器、貫入食器（ひび割れ模様の食器）

変色したり、ひびが入った食器は割れるおそれがあります。

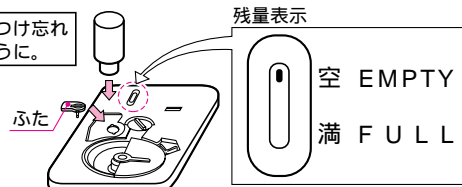
漆塗り食器、重箱、金箔入の食器、木製のわん

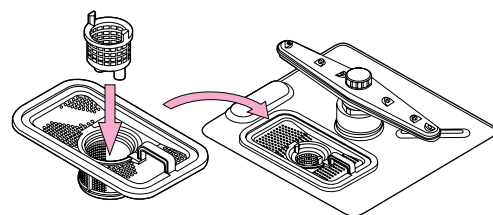
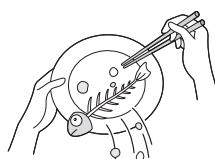
はがれたり、割れるおそれがあります。

ステンレスなどの金属痕のつきやすい食器（素焼きやうわぐすりのとれかけた食器など）

食器に灰色・黒色・銀色などの線が付着します。（線が付着した場合は19ページを参照してください。）

2 使いはじめのときに、乾燥仕上げ剤を入れてください。

- 残量表示が「空」になったら入れてください。（毎回入れる必要はありません。）

3 残さいフィルターが正しくセットされていることを確認する。

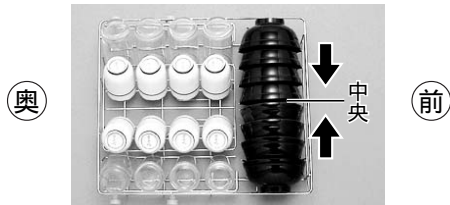
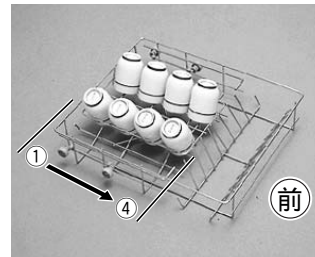
4 食器の残さいを取り除く。

【落ちない汚れ】
- 手洗いでも落としにくい汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。あらかじめ、手洗いでこすり落としてから入れるか、手洗いにしてください。

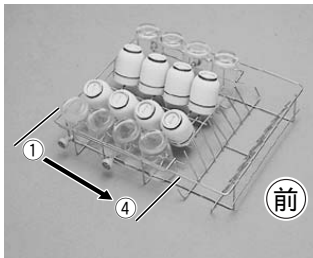
（例）・グラタンなどの焼きつき　・茶碗蒸しのこびりつき　・鍋の焼けこげ　・口紅の汚れ

2 使いかた
食器の入れかた

標準的なセット例

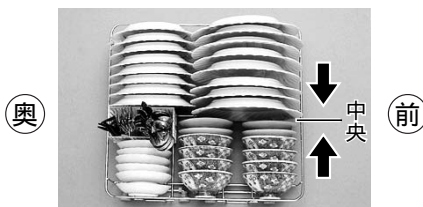
● 食器の内面を下図のように矢印方向に向けてセットしてください。
※食器の入れ方によっては、ステンレスかごとのこすれにより、食器に色がつく場合があります。

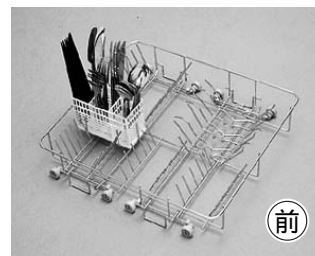
上かご

1. 湯のみを入れる

湯のみをななめにかたむけ、湯のみどうしをはなして、奥側より手前に向かって順番に入れる
（湯のみの高さ：9cm以下）

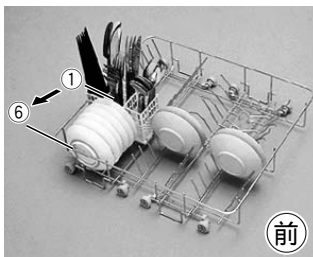
2. コップを入れる

コップをななめにかたむけ、コップどうしをはなして、奥側より手前に向かって順番に入れる
（コップの高さ：12cm以下）

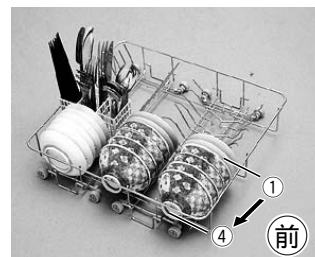
3. 汁わんを入れる

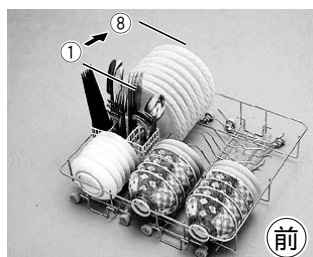
中央より外側に向かって順番に入れる

下かご

※前側と奥側を間違って機器に入れると、きれいに洗えないときがあります。

1. はし・スプーンなどを入れる

はし・スプーンなどがひっつかないように入れる
（小物の長さ：24cm以下）

2. 小皿を入れる

中央より外側に向かって順番に入れる

3. 茶わんを入れる

中央（小皿側）より外側に向かって順番に入れる

4. 中皿を入れる

中央より外側に向かって順番に入れる

5. 大皿を入れる

中央より外側に向かって順番に入れる
（大皿の高さ：26cm以下）

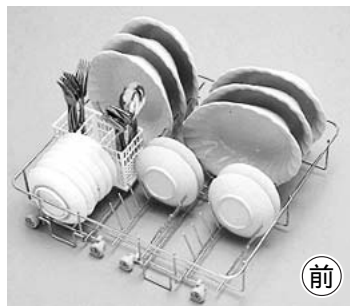
2 使いかた いろいろな食器の入れかた

モーニングセットの例

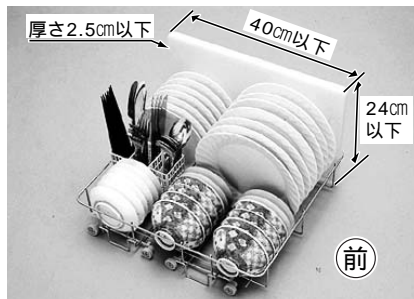
上かご		サラダ鉢 コップ コーヒーカップ	下かご		大皿 中皿 コーヒー皿 ナイフ フォーク スプーン

ラーメンの例

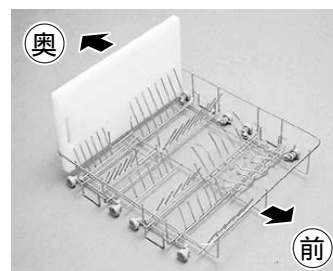
上かご		小鉢 コップ 湯のみ	下かご		ラーメン鉢 茶わん 小皿 はし れんげ

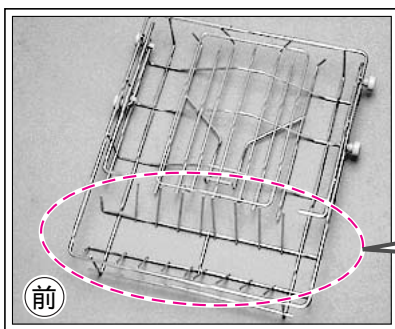
カレーの例

上かご		コップ 湯のみ サラダ鉢	下かご		カレー皿 小皿 スプーン フォーク

まな板を入れる場合

- 汚れている面を内側にしてセットする。
  まな板は大皿、中皿の外側に入れる。
  大皿・中皿は1枚ずつ減ります。

※木製のまな板は割れ目が入ったり、表面のキズに入り込んだ汚れが洗えない場合があるため、耐熱温度90℃以上のプラスチック製のものをおすすめします。

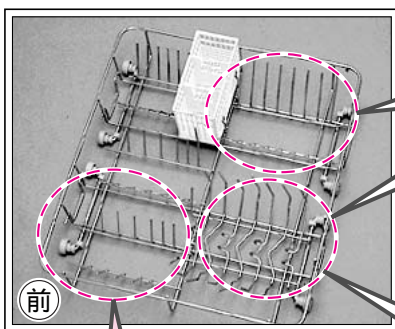
⚠注意

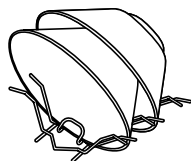
- まな板をかごの奥に、横に向けて入れない。
  洗浄槽内の部品に当たり、部品の破損や、部品の落下のおそれがあります。

2 使いかた
じょうずな食器の入れかた

上かご

サラダ鉢など

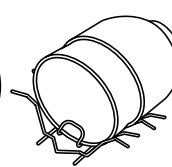
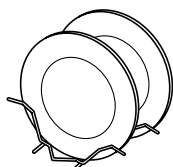
- サラダ鉢など、深いわんは、上かごの汁わんを入れる所にセットするとうまく入ります。

直径が12cmをこえるわん類は、下かごの茶わんを入れる所にセットします。

下かご

ラーメン鉢・カレー皿など

- 大皿・中皿を入れる所にセットします。

中央の折り曲がったワイヤーに器の縁を入れるとうまくセットできます。

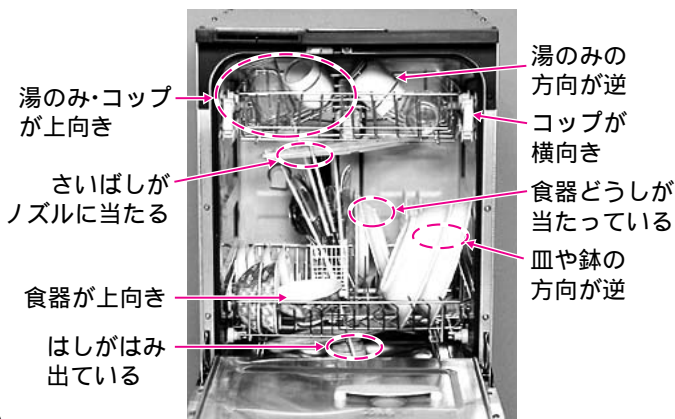
大皿・どんぶり鉢など

- 大皿やどんぶり鉢・うどん鉢などの深い食器は、下かごの手前側(大皿を入れる所)にセットする。

中央の折り曲がったワイヤーに器の縁を入れるとうまくセットできます。

直径26cmまで入ります。

コップ・グラス

- 高さの高いコップ・グラス(高さ12cmをこえるとき)は下かごの茶わん・中皿を入れる所にセットする。

▣食器セットの悪い例

▣調理器具などのセット例

食器の取り出しかた

- 入れるときの逆の順序で、また皿や茶わんは1枚ずつ外側から取り出してください。
  まとめて取り出したりすると、食器と食器などが当たって、欠けることがあります。

(詳細は、8ページの逆の手順で行ってください)

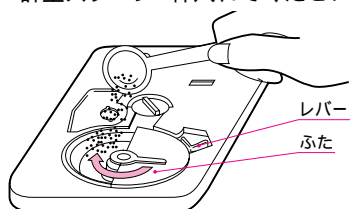
食器を入れるときのお願い

- 湯のみ・コップどうしをはなして、セットしてください。
  ※接触部分がきれいに洗えない場合があります。
- 食器は、ワレ・ヒビなどが発生しないように、食器と食器があたらないようにセットしてください。
- 特にガラス食器はていねいに取り扱ってください。
- 包丁などの刃物は、刃先でかごにキズをつけないよう上に向けて入れてください。

使用方法

1. 食器をセットし、専用洗剤を入れる

①かごを引き出して、食器をセットしてください。
（ 8〜10ページ参照）

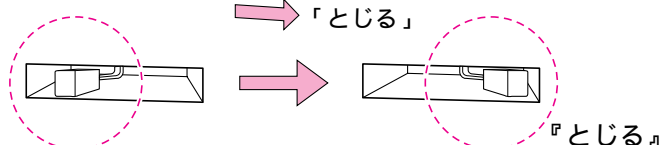
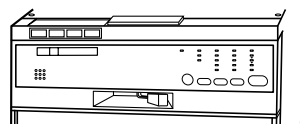
②専用洗剤を入れてください。
（計量スプーン2杯分）
- 油汚れの多い場合は、洗剤を3杯に増やしてください。
- 食器が少ない場合でも、専用洗剤は計量スプーン2杯入れてください。

③ふたを閉めてください。
※閉め忘れると食器をきれいに洗えない場合があります。

⚠注意
- ふたを開ける場合は、レバーを操作する。
  無理にふたを開けようとすると、故障の原因になります。

④給湯器の電源を『入』にし、60℃設定にしてください。
※給水接続の場合は除く。

⚠警告
- 他の給湯栓のお湯の温度に注意する。
  60℃のお湯が出てやけどするおそれがあります。

2. ドアを閉め、スタートさせる

①ドアを閉め、レバーを『とじる』の位置にしてください。

② 【電源】スイッチを押してください。

音声：『電源が入りました。コースを選択し、スタートスイッチを押してください。』

【電源】スイッチを押すと自動的に前回使用したコースにセットさせています。
（コースメモリー：下記 一口メモ 参照）

③洗浄コース、乾燥モードを選択してください。
（ 13〜14ページ参照）

④ 【スタート／一時停止】スイッチを押してください。

音声：『運転しました。時間はおよそ○○分です。』
（選択コース、気温などにより「○○」分は変わります。）
（ 16ページ参照）

※レバーが中間位置にある場合【スタート】スイッチを押しても運転しません。
音声：『ドアレバーを閉めてください。』

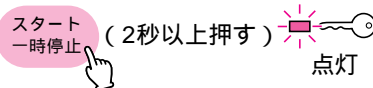
一口メモ

■コースメモリー（記憶）について
- 前回運転したコースを記憶する機能です。電源を『入』にすると自動的に前回運転したコースに設定されます。

※いつも同じコースを使う場合はコースを選ぶ必要はありません。

■ロックについて
- 運転中にスイッチ操作を受け付けないようにする機能です。小さなお子様のいたずらによる、運転などを防止できます。

※運転が終了するとロックは解除されます。

ロックのセット
- 運転を開始するとき、または一時停止中

運転が開始します。

ロックの解除
- 運転中

消灯

一時停止状態になります。再度【スタート／一時停止】スイッチを押し、運転を開始させてください。

3. 運転終了

● 終了ブザーが鳴って運転終了です。

音声：『運転が終わりました。ドライ行程に入ります。』

（※『ドライ行程に入ります。』は「ドライ」が設定されている場合のみ報知します。）

※『ドライ』運転は約2時間運転しますが、いつでも食器は取り出せます。
『ドライ』運転については下記 一口メモ 参照。

終了報知·終了ブザーを消したいときは 15ページを参照してください。

お願い

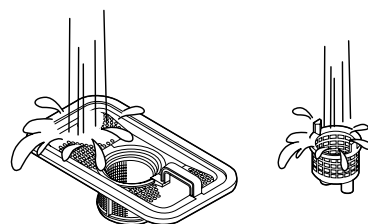
食器は終了ブザーが鳴って約30分以上おいて、庫内が冷えてから取り出してください。

※予約運転で運転が終了した場合、終了報知は行いません。

4. 後始末をする

● 残さいフィルターの掃除。

運転終了後、30分以上おいて庫内が冷えてから行ってください。

①残さいを捨て、残さいフィルター（大・小）を洗ってください。

フィルター（大）　フィルター（小）

②本体に必ず元通りセットしてください。

※残さいフィルターをはずしたとき、底部に残水がありますが異常ではありません。
（セット方法：7ページ参照）

一口メモ

■ドライ運転について

ドライ運転が設定できるコース
・標準　・念入り　・スピーディ

● 設定コース運転終了後、約2時間の間欠送風の繰り返しを行います。
コース運転後、長時間食器をそのままにしておく場合に食器を"カラッ" と保管できます。

ドアを開けると『ドライ』運転は終了します。

■ドライ運転の解除とセット

①【電源】を『切』にする。

②【コース】スイッチを押しながら、【電源】スイッチを押す。

③ ドライ運転解除の場合

音声：『ドライ行程を解除しました。』

ドライ運転セットの場合

音声：『ドライ行程をセットしました。』

コースの選びかた

1. 【電源】スイッチを押す

●【電源】スイッチを押すと、前回使用したコースにセットされます。

2. 洗浄コースの選びかた

●【コース】スイッチを押して、コースを選びます。
スイッチを押すごとに、下図のようにランプが変わりコースを選べます。

●コースの選びかた

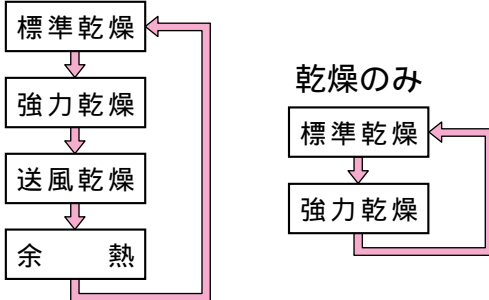
標　準	念入り	スピーディ
●ふつうの汚れのとき ●食後、すぐに洗うとき	●がんこな汚れのとき ●中華料理など油分の多い汚れのとき ●食後、数時間してから洗うとき	●かるい汚れを短時間で洗うとき （加熱すすぎの温度が低いのと、乾燥時間が短いため、乾燥終了後、多少水滴が残る場合があります。）
快　速	**乾燥のみ**	**予　洗　い**
●かるい汚れ（パン食など）、つけおき、またはかるくすすいだ食器を洗うとき （湯すすぎ乾燥行程がありませんので食器をすぐに使う場合は、標準コースを選択してください。）	●手洗いした後、乾燥のみを行うとき ●食器をあたためるとき （乾燥のみ運転を使用する場合、週に一回程度予洗い運転を行ってください。（水滴に含まれる不純物で洗浄槽が汚れたり、においの原因になります。））	●あとでまとめ洗いするのに前もって大まかな汚れを落としておきたいとき

高温すすぎ	●雑菌のつきやすいまな板や包丁をあらうとき

知って得するメモ

●標準乾燥モード
洗浄コース、乾燥のみコースのとき通常はこのモードを選びます。運転状況に応じて、ドライとの組み合わせを選んでください。
●強力乾燥モード
洗浄コースで標準乾燥モードでは、乾き具合が十分でないときこのモードを選びます。運転状況に応じて、ドライとの組み合わせを選んでください。
●ドライ機能
乾燥運転後、さらに間欠送風を行い庫内の換気を行います。洗浄運転後も長時間食器を入れたままの状態にするときは、食器や庫内の結露の防止や庫内の臭いのこもりを緩和します。

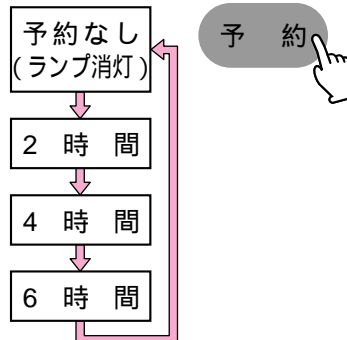
3. 乾燥モードの選びかた

●【乾燥】スイッチを押して、目的に応じた乾燥モードを選びます。
スイッチを押すごとに、下図のようにランプが変わり乾燥モードを選べます。

標準・念入り・スピーディ

※快速コース、予洗いコースには乾燥行程はありません。

洗浄コースを選択後乾燥モードを選んでください。

4. 予約のしかた

〔標準・念入り・スピーディコースのみ〕
● 洗浄運転を開始するまでの時間をスイッチを押して選びます。
スイッチを押すごとに下図のようにランプが変わり予約時間を選べます。

上手な予約運転
深夜電力運転契約を行っていただき、深夜電力時間帯に食器洗い乾燥機が、運転するように予約時間をセットしておくと、電気代を節約できます。
夕食の時間が個々まちまちのときでも、深夜に予約運転をセットしておくと、朝には食器がきれいに洗い上がります。
（個々食事が終わるごとに食器をセットしていただいてかまいません。）

5. 運転開始

●【スタート／一時停止】スイッチを押します。

※運転が開始されると進行表示ランプが点滅します。

［予約時間を選択した場合］
1.予約時間ランプが点滅し、予洗い運転が開始されます。（コース・乾燥・進行表示ランプは点灯）
2.予約時間経過後、洗浄運転が開始され、進行表示ランプが点滅します。

● 送風乾燥モード
乾燥行程に入ると、ヒーターを作動させずに送風のみ行って食器を乾燥させます。乾燥時間は長くかかりますが、電気代が少なくなります。夜に運転をさせ、朝まで放置するような場合に使います。
● 余熱乾燥モード
乾燥行程に入ると、前行程（加熱すすぎ）の余熱で乾燥させます。ヒーターもファンも使用しないため、電気代は一番少なくてすみますが、乾燥の仕上がりは劣ります。
乾燥行程が不要なときでも、このコースを選んでください。

2 使いかた
その他の機能

機　　能	手　順　と　確　認
(1) 音声報知の音量調節 ● 音声報知の音量は「大･中･小」の3段階に調節できます。また、音声報知をブザー報知に切り替えることができます。 ● 音声報知の音量の設定は、電源を切っても記憶されます。 ● ブザー音は消すことができません。 ● お客様に注意をうながす報知は消すことができません。 例　音声：『庫内は高温です。注意してください。』 （運転中にドアを開けたときや、運転終了後30分以内にドアを開けたときなど、庫内が高温の場合。）	**音量調節** 1.【電源】スイッチを『切』にしてください。 2.【スタート／一時停止】スイッチを押しながら【電源】スイッチを押すと音量は下記のように切り替わります。 スタート一時停止 ● セットされた音量を音声でお知らせします。 例　音声：『・・・音量を小にセットしました。』
(2) 運転終了報知を消すとき ● 深夜の運転で終了報知を必要としないときに使用します。	**運転終了ブザーの解除とセット** 1.【電源】スイッチを『切』にしてください。 2.【電源】スイッチを2秒以上押し続けてください。 （2秒以上） 運転終了ブザー解除の場合 音声：『運転終了をお知らせしません。』 運転終了ブザーセットの場合 音声：『運転終了をお知らせします。』

運転を開始したあとで

こんなとき	操作のしかた	確　　認
● スタート直後に食器を追加するとき。 運転開始後5分以内に行ってください。運転開始後時間が経過して行うと、追加した食器がきれいに仕上がらないことがあります。	【スタート／一時停止】スイッチを押し、ドアを開け食器を入れてください。 ドアを閉め、レバーを『とじる』の位置にしてください。 自動的に運転を再開します。	表示ランプの点滅で運転の再開を確認してください。
● 洗浄コースを変更するとき。	【電源】スイッチを切ってください。 2～3秒間おいて【電源】スイッチを入れ、お好みのコースを選んで【スタート／一時停止】スイッチを押してください。 洗剤・乾燥仕上げ剤のふたが開いているときは、洗剤を入れてふたを閉じてください。	お好みのコースのランプの点灯を確認してください。

各コース別の所要時間のめやす

〔表1〕

運転コース	洗い（分） 予洗い	洗い（分） 本洗い（50/60Hz）	すすぎ（分） 水すすぎ 1	2	3	すすぎ（分） 加熱すすぎ（上段…標準すすぎ 下段…高温すすぎ）	乾燥（分） 乾燥モード	ヒーター乾燥（上段…標準すすぎ 下段…高温すすぎ）	送風乾燥（上段…標準すすぎ 下段…高温すすぎ）	所要時間（分） 50Hz	60Hz
標　準	4	(14/12) 約60℃	←	→	‥‥	{約70℃…16 約80℃…26}	標準乾燥	{15 5}		約49	約47
							強力乾燥	{30 20}		約64	約62
							送風乾燥		{90 80}	約124	約122
							余　熱			約34	約32
念入り	5	(25/22) 約60℃	←		→	{約70℃…21 約80℃…31}	標準乾燥	{20 10}	{5 5}	約76	約73
							強力乾燥	{60 50}		約111	約108
							送風乾燥		{90 80}	約141	約138
							余　熱			約51	約48
スピーディ		(9/8) 約50℃	←	→	‥‥	{約50℃…11 約80℃…26}	※1 標準乾燥	{10 2}		約30 {約37}	約29 {約36}
							※1 強力乾燥	{30 20}		約50 {約55}	約49 {約54}
							※1 送風乾燥		{90 80}	約110 {約115}	約109 {約114}
							※1 余　熱			約20 {約35}	約19 {約34}
快　速		(5/5) 約50℃	9				――			約14	
乾燥のみ							標準乾燥	60		約60	
							強力乾燥	90		約90	
予洗い	5						――			約5	

〔条件〕● 電源電圧 AC100V、水圧0.3MPa（3kgf/㎠）、給湯60℃、室温20℃時のときです。
※1：スピーディコースの{　}内の時間は高温すすぎを選択した場合の時間を示します。
● 給水温度、給湯温度、季節などにより所要時間は〔表1〕より長くなります。表2を参考にしてください。

〔表2〕

運転コース	所要時間 ※2 給湯60℃	給湯50℃	給湯40℃	給水時
標　準	夏場 約△3分～冬場 約10分	夏場 約 1 分 ～ 冬場 約20分	夏場 約 5 分 ～ 冬場 約25分	夏場 約20分 ～ 冬場 約40分
念入り	夏場 約△5分～冬場 約 2 分	夏場 約 5 分 ～ 冬場 約10分	夏場 約 5 分 ～ 冬場 約20分	夏場 約15分 ～ 冬場 約35分
※3 スピーディ	夏場 約△2分～冬場 約 5 分 {夏場 約△1分～冬場 約15分}	夏場 約 1 分 ～ 冬場 約10分 {夏場 約 1 分 ～ 冬場 約15分}	夏場 約 1 分 ～ 冬場 約15分 {夏場 約 5 分 ～ 冬場 約25分}	夏場 約15分 ～ 冬場 約35分 {夏場 約25分 ～ 冬場 約50分}
快　速	夏場 約△1分～冬場 約 5 分	夏場 約 2 分 ～ 冬場 約10分	夏場 約10分 ～ 冬場 約15分	夏場 約15分 ～ 冬場 約25分

※2：給湯60℃の夏場の時間（例：△5分）は表1よりも所要時間が短くなることを示します。
※3：スピーディコースの{　}内の時間は高温すすぎを選択した場合の時間を示します。

● 運転時間および音声による運転時間の報知はあくまでもめやすとして参照してください。条件（水圧、給湯配管長さ、給湯器の性能など）により運転時間は変化します。
● ドライ運転は、ドライ運転が設定されているときに設定コース運転終了後、約2時間の間欠送風の繰り返しを行います。（ヒーターは入りません。）

お願い

給湯器に接続されている場合は、70℃以下の温度に調節してください。（60℃設定をおすすめします。）

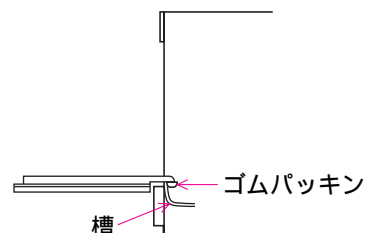
お手入れのしかた

◎月に一度は入念なお手入れをしてください。

⚠警告

●運転中または、運転終了後30分間は絶対に洗浄槽やヒーターにふれない。
※食器の取り出し、フィルターの掃除・お手入れも運転終了後30分以上経過してから行ってください。
やけどのおそれがあります。

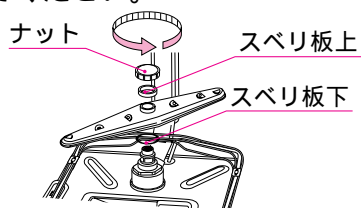
庫内を清潔に保つために

●よく絞った柔らかい布でふいてください。
●ドアの下端のパッキン（右図の矢印で示す場所）は、汚れがつきやすいのでお手入れを念入りにしてください。
●洗浄槽およびかごや小物入れに食べもののかすが残っているときは、きれいに取り除いてください。

【庫内が白くなった場合】
●市販のクエン酸や、クエン酸入りの『食器洗い乾燥機用庫内クリーナー』を使用する。
※庫内に白い成分が蓄積すると、故障の原因になります。
●『食器洗い乾燥機用庫内クリーナー』の使用方法を守ってください。
※誤った使用方法で使った場合、クリーナーの効果が得られないことがあります。
●クエン酸または庫内クリーナーの使用方法（例）
①食器を取り出し、残さいフィルターを掃除して、正しくセットする。
②［標準］コースで約5分運転し、【スタート／一時停止】スイッチを押し、運転を一時停止する。
③ドアを開け、クエン酸または庫内クリーナーを庫内に入れ、ドアを閉める。
④再度【スタート／一時停止】スイッチを押し、終了するまで運転する。

ノズルの掃除

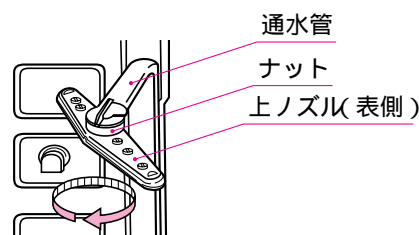
●ノズルを取りはずし、水洗いして異物を落としてください。

下ノズルのはずしかた

●スベリ板をなくさないように注意して取りはずしてください。

※ナットを左に回してはずします。

上ノズルのはずしかた

●裏側中心付近の小さな穴も掃除してください。

通水管
ナット
上ノズル（表側）

※通水管を支えながらナットを左に回してはずす。
（ナットは上ノズルからはずれません。）

●ノズルの取り付けは、はずしたときの逆の手順で行い、確実に取り付けた後、ノズルが手で軽くまわることを確認してください。

ドアや操作パネル部の掃除

●ドアや操作パネル部の汚れは、よく絞った柔らかい布でふき取ってください。
●掃除をするときは、水をかけないでください。
●ベンジン・シンナー・クレンザー・ワックス・弱アルカリ性洗剤などでふいたり、たわしでこすらないでください。
●化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

3 専用洗剤・乾燥仕上げ剤について

専用洗剤について

- 必ず石けん成分を含まない食器洗い乾燥機専用洗剤（粉末）を使用してください。
- 台所用液体洗剤は少量でも使わないでください。

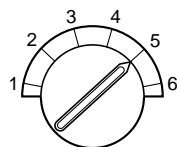
推奨専用洗剤

※一般の台所用洗剤（液体）では、泡の異常発生で正しく作動せず、故障の原因になります。
（台所用液体洗剤を食器を入れる前に使用した場合は、必ず食器をすすいでから入れてください。）
※食器洗い乾燥機専用洗剤でも、石けん成分が含まれている洗剤では、庫内に石けん成分などが残ったり、洗い上がりが悪くなる恐れがあります。

乾燥仕上げ剤について

- 加熱すすぎ時に自動的に出ます。
  水切れをよくし、水滴跡が少なくなり美しく仕上がります。

乾燥仕上げ剤投入量のめやす

- 乾燥仕上げ剤の出る量は調節つまみにより6段階に調節できます。
  ※通常は目盛り「5」でお使いください。（約1.1㎖出ます。）
  目盛り「3」は目盛り「5」の約半分
  目盛り「6」は目盛り「5」の約1.5倍の量が出ます。

専用洗剤・乾燥仕上げ剤のお求めは…

- 付属の専用洗剤・乾燥仕上げ剤がなくなりましたら、食器洗い乾燥機をお買い上げの販売店または、0120-38-8180（電話料金無料）に連絡してください。
  お近くの電気店、スーパーマーケットなどでも購入できます。

仕上がりが悪いと思われるときは

状　　況	原　　因	対処方法
洗いあがりが悪い 汚れが食器に残る	● 食器を重ねて入れていたり、セット方向がまちがっている。 ● 下カゴに入れた食器がはみ出してノズルの回転を止めている。	● 食器を正しくセットする。 （☞ 8〜10ページ）
	● 下かごの前後が逆になっている。	● 正しく下かごをセットする。 （☞ 8ページ）
	● 焦げつきやこびりついた汚れがついた食器をそのまま入れている。	● こすりおとしてから入れるか、手洗いする。
	● 残さいフィルター、上下ノズルが目づまりしている。	● 残さいフィルター、上下ノズルをお手入れする。 （☞ 12・17ページ）
	● 推奨専用洗剤以外の洗剤を使用している。 ● 専用洗剤を2杯分以上入れていない。 ● 液体、ジェル状洗剤を使用している。	● 粉末状（パウダー）の推奨専用洗剤を正しく入れる。（2杯分以上） （☞ 11・18ページ）
	● 洗剤入れに専用洗剤を入れていない。	● 洗剤入れに専用洗剤を入れる。 （☞ 11ページ）
	● 地下水などミネラル分の多い水を使用している場合。	● 専用洗剤を多めに入れる。 ● 乾燥仕上げ剤の出る量を調整する。 （☞ 18ページ）
	● コースの選択が適切ではない。	● 食器の汚れに応じた正しいコースを選択する。 （☞ 13〜14ページ）
食器が黄ばんだり、黒ずんだりするとき	● 水に含まれている鉄分や茶しぶのためです。	● ときどき食器をこすって洗ったり、漂白する。
プラスチック食器が変形する（お椀、弁当箱、など）。	● 耐熱90°C以下のプラスチック食器をセットした。 ● プラスチック密閉容器のふたを入れた。	● 耐熱90°C以下のプラスチック食器を入れない。 （☞ 7ページ）
庫内に水滴が残る	● 庫内の天井やドアの内側に水滴が残ることがあります。 異常ではありません。	● ドライ運転をする。 ● 乾燥仕上げ剤の出る量を調整する。 （☞ 18ページ）
ガラス食器に水滴のあとが残る	● 洗剤やすすぎ不足のせいでなく、水に含まれているミネラル分が原因で淡い水滴あとが残ることがあります。 異常ではありません。	● ときどきレモン汁や酢をつけて手洗いする。 ● 乾燥仕上げ剤の出る量を調整する。 （☞ 18ページ）
食器の糸底部に残水がある 糸底部の残水	● 食器のセットのしかたや形状によっては水滴が若干残ることがあります。 異常ではありません。	● ふきんで残水をふき取る。
ガラス食器類が白くくもる	● 表面に小さな傷やひびが入った食器類を高温の洗浄水で洗うと浸食が進み、まれに白くくもることがあります。	● 表面に小さな傷やひびの入った食器はいれない。 （☞ 7ページ）
	● クリスタル製食器は白くくもることがある。	● クリスタル製食器は入れない。 （☞ 7ページ）
	● 油分や玉子などが多く食器に残っている場合、白くくもることがある。	● 専用洗剤を多めに入れる。 ●「念入り」コースにて運転する。
庫内が白くくもっている	● 水に含まれているミネラル分のためです。 異常ではありませんが、庫内に蓄積すると故障の原因となります。	● お近くの電気店、スーパーマーケットで販売しているクエン酸や、クエン酸入りの『食器洗い乾燥機用庫内クリーナー』を使用する。 （☞ 17ページ）
	● 石けん成分が含まれている専用洗剤など、推奨専用洗剤以外の洗剤を使用している。	● 推奨専用洗剤を使用する。 （☞ 18ページ）
食器に灰色・黒色・銀色の線がつく	● 食器をかごに押し込んで入れている。 ● 食器をかごに入れた際、食器にかごの色が付いている。	● 食器を無理に押し込まない。 ● 食器の種類によっては色が付きやすい場合があり、この場合は使用をひかえる。 ● 食器に付着した色は、やわらかい布を用いて、重曹などでこすって拭きとる。

3 *点検・お手入れ、他*

故障かな？と思ったら

◎故障かな？と思っても、よく調べてみると故障でない場合があります。
　修理・サービスを依頼する前に、まず次の内容を調べてください。

状　　況	原　　因	対処方法
運転しない	●停電している。	●下表『停電』参照
	●機器用屋内ブレーカーが『切』になっている。	●下表『ブレーカーが作動したとき』参照
	●ドアが開いている。 ●ドアのレバーが確実に『とじる』の位置になっていない。	●ドアを閉め、レバーを『とじる』の位置にする。
	●電源を『入』にしていない。 ●【スタート/一時停止】スイッチを押していない。	●電源を『入』にし、【スタート/一時停止】スイッチを押す。
給水しない	●給水栓が閉じている。 ●断水または凍結している。	●給水栓を開ける。 ●下表『断水』『凍結』参照

凍結・断水・停電・ブレーカーが作動したときは

状　　況	対　処　方　法	
凍　　結	1 電源を『切』にし、庫内に70℃程度の湯水を約3ℓ入れ、約60～90分放置してください。（室温15℃の場合）	2 解凍後【電源】スイッチを押し、「標準」コースのランプの点灯を確認して運転を開始してください。給水・排水および洗浄運転ができることを確認してください。
断　　水	1 電源を『切』にし、運転を中止する。	2 断水が回復したら、他の蛇口からにごった水を流し、運転を再開する。
停　　電	1 自動的に停電前の状態から運転を再開(接続)します。	
ブレーカーが作動したとき	1 ブレーカーを復帰させる。	2 自動的に停電前の状態から運転を再開(接続)します。

3 点検・お手入れ、他
異常報知について

◎音声報知やランプ表示で機器異常を知らせたときは、【電源】スイッチを押し、全てのランプが消灯したことを確認してから、お買い上げの販売店に連絡してください。

音声報知とランプ表示	内　　容	処　　置
音声：『水漏れが発生しています。水道栓を閉めてください。点検修理が必要です。』 ランプ 2時間・4時間・6時間 ランプが1回点滅 2時間 ▭標　準 ▭乾燥のみ 4時間 ▭念入り ▭標準乾燥 6時間 ▭スピーディ ▭強力乾燥 ▭快　速 ▭送風乾燥 ▭予洗い ▭余　熱	**漏水異常** （機内の水通路の接続部や給水バルブの接続部などからの水漏れが発生していることを示しています。）	●機器の止水栓を閉めてください。水漏れの可能性がありますので、至急、お買い求めの販売店に連絡してください。 （機器の止水栓がわからない場合は、元水栓を閉じてください。）
音声：『水道栓が閉まっている可能性があります。点検してください。』 ランプ 2時間・4時間・6時間 ランプが2回点滅 2時間 ▭標　準 ▭乾燥のみ 4時間 ▭念入り ▭標準乾燥 6時間 ▭スピーディ ▭強力乾燥 ▭快　速 ▭送風乾燥 ▭予洗い ▭余　熱	**給水異常** （断水や給水管が詰まっているか、水道管の凍結あるいは止水栓の開け忘れなどで給水できないことを示しています。）	●断水の場合は、断水が回復してから運転してください。凍結の場合は20ページを参照してください。 ●初めて使用される場合は、止水栓の開け忘れの可能性が高いので、お買い求めの販売店に連絡してください。
音声：『異常があります。点検修理が必要です。』 ランプ 2時間・4時間・6時間 ランプが3回点滅 2時間 ▭標　準 ▭乾燥のみ 4時間 ▭念入り ▭標準乾燥 6時間 ▭スピーディ ▭強力乾燥 ▭快　速 ▭送風乾燥 ▭予洗い ▭余　熱	**排水異常** （排水ホースの折れや、異物の詰まりによって、排水できないことを示しています。）	●残さいフィルターが、詰まっていないか確認してください。 ●初めて使用される場合は、排水ホースの接続方法に不具合がある可能性が高いので、お買い求めの販売店に連絡してください。
音声：『異常があります。点検修理が必要です。』 ランプ 標準・念入り ランプが1回点滅 ▭2時間 標　準 ▭乾燥のみ ▭4時間 念入り ▭標準乾燥 ▭6時間 ▭スピーディ ▭強力乾燥 ▭快　速 ▭送風乾燥 ▭予洗い ▭余　熱	●ドアを開けて庫内が白くくもっていないか確認してください。 **庫内が白い場合** 水に含まれているミネラル分です。お近くの電気店、スーパーマーケットで販売しているクエン酸やクエン酸入りの「食器洗い乾燥機用庫内クリーナー」を使用してください。 ※お手入れのしかた、【庫内が白くなった場合】（17ページ）の使用方法（例）を守って使用してください。 ●クエン酸や、庫内クリーナー使用後、庫内の白いくもりがとれても同じランプ表示が出る場合、お買い求めの販売店に連絡してください。	

●上記処置をしても運転をしない場合や、上記以外の異常報知ランプ表示があった場合は、お買い求めの販売店または、もよりの弊社に連絡してください。
このとき、どのような異常報知ランプ表示であったかについてもお知らせください。

仕様・アフターサービス

仕　様

電源電圧	単相交流100V	使用水量 (標準コース)	約21.5 ℓ	標準収納容量	大皿 8枚 中皿 8枚 小皿 10枚 茶わん 8点 吸物わん 8点 湯のみ 8点 コップ 8点 計58点 他に ナイフ･スプーン･フォーク･しゃもじ･さいばし
周波数	50/60Hz共用				
消費電力	・ポンプモーター(50/60Hz) 洗浄時：145W/187W 排水時：147W/188W ・ヒーター 1080W ・最大消費電力(50/60Hz) 1225W/1267W	使用水圧	0.03～1MPa(0.3～10kgf/㎠)		
		洗浄方式	回転ノズル噴射式		
		すすぎ方式 (標準コース)	水すすぎ 2回 加熱すすぎ 1回		
定格電流	50Hz：12.3A／60Hz：12.7A				
外形寸法	幅448㎜×奥行580㎜×高さ750㎜	乾燥方式	ヒーターとファンによる強制排気乾燥		
製品の質量	約32kg				

サービスのお申し込み

- 21ページの「異常報知について」を見て、もう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合は、お買い求めの販売店または、フリーダイヤル〈0120-38-8180〉に連絡してください。
  なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品名コード　FB4504PC・FB4504PF・FB4504WC・FB4504WF
2. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
3. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

保　証　書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの弊社（別紙サービス網一覧表）に相談してください。
  修理によって性能が維持できる場合は修理（有料）いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
  その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので、ご了承ください。
  性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保　証　書

品　名　コ　ー　ド	FB4504PC・FB4504PF FB4504WC・FB4504WF

このたびは当社製品をお買上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

＜無料修理規定＞
1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、下記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または、もよりの弊社が無料修理致します。
2．保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、もよりの弊社にご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3．ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、もよりの弊社にご相談ください。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
6．本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
7．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）　使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）　お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
（ハ）　火災、塩害、地震、風水害、煤煙、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入およびその他の天災、地変による故障および損傷。
（ニ）　据付工事説明書および取扱説明書等に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障および損傷。
（ホ）　業務用の場所等（喫茶店、飲食店など）でご使用になられた場合。
（ヘ）　車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
（ト）　塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
（チ）　機器に表示してある電源（電圧・周波数）以外で使用された場合。
（リ）　本書の提示がない場合。
（ヌ）　本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
（ル）　消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。

お　客　様	お 名 前	TEL
	ご 住 所 〒	

保　証　期　間	お買い上げ　　年　　月　　日から1年間

販　売　店	店　名	TEL
	住　所	

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、もよりの弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

株式会社ハーマン　〒554-0023　大阪市此花区春日出南3-2-10
T E L　06（4804）8600

年　月　日	修　理　記　録　（　修　理　内　容　）	サービス員㊞

株式会社ハーマン　本社　〒554-0023 大阪市此花区春日出南3-2-10

アフターサービスについてのお問い合わせは
（修理受付センター）　サービスはハイハーマン
電話料金無料 0120-38-8180
●受付時間／24時間サービス受付
携帯電話からのお問い合わせは ☎078-928-5496
（受付時間／8:30〜19:00）

商品についてのお問い合わせは
（お客様センター）
☎06-4804-8614
●受付時間／平日、土曜日9:00〜18:00
（日･祝日･弊社指定休日は除く）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。